

# 5 計画策定の区域

## ● 甲府市の位置

甲府市は、首都東京から約100km、山梨県の中央部に位置し、古くから県都として栄え、地域の中心的都市として発展してきました。

南に富士山、北に金峰山、八ヶ岳、西に南アルプス連峰の山々を望む景勝の地に位置しており、市域面積は約212km<sup>2</sup>で南北方向に細長い形をしています。海拔は250~2,600mで周囲を山々に囲まれた盆地となっています。

最北の山岳地域には、八幡山、金峰山、朝日岳など2,000mを超える峰々が連なり、南には王岳、釈迦ヶ岳があります。盆地に形成された市街地はおおむね平坦ですが、北に高く南に傾斜しているのが特徴です。



## ● 計画の区域

- 甲府市の市制が施行されたのは明治22年で、全国で34番目、関東では東京、横浜、水戸に次ぐものです。当時の人口は3万1千人余りでした。
- 昭和12年の合併において、旧西山梨郡相川村、里垣村、旧中巨摩郡貢川村、国母村の4村が編入されました。
- 昭和17年の合併において、旧西山梨郡千塚村、大宮村の2村が編入されました。
- 昭和24年の合併において、旧中巨摩郡池田村、旧西山梨郡住吉村畔西が編入されました。
- 昭和29年の合併において、旧西山梨郡山城村、住吉村、朝井村、甲運村、玉諸村、千代田村、能泉村、旧中巨摩郡宮本村、大鎌田村、二川村の10村を合併しました。
- 平成18年3月に旧東八代郡中道町、旧西八代郡上九一色村の一部（梯・古関）と合併して現在に至っています。

## ● 市域のうつりかわり

